

ぎかいの杜

CONTENTS

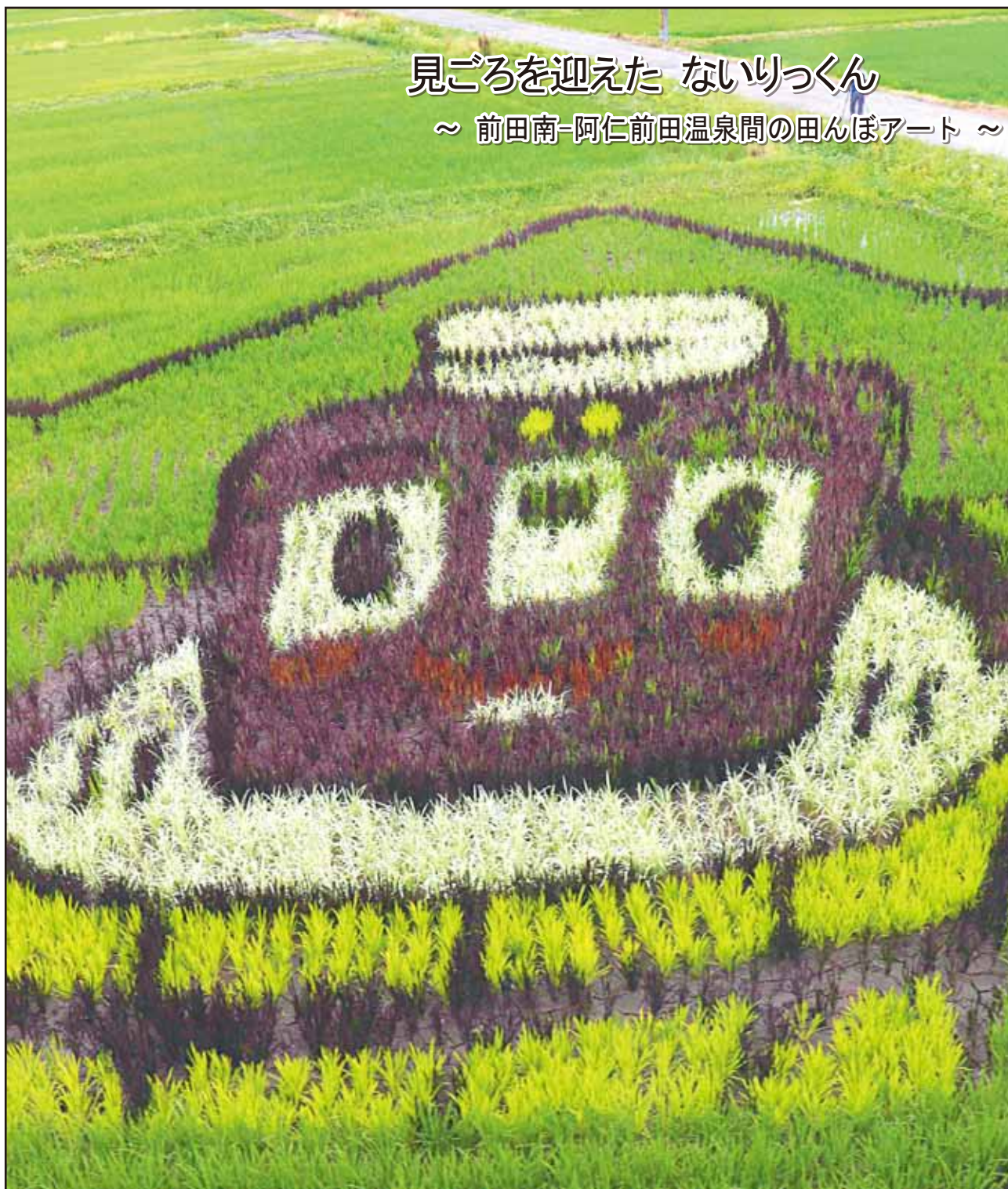
6月定例会の審議……………	P2～3
請願・陳情……………	P3
常任委員会審査報告……………	P4～5
一般質問……………	P6～12
政務活動費……………	P12
全員協議会……………	P13
議会の動き／議員表彰……………	P14

NO.92 令和8年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。

見ごろを迎えた ないりっくん

～ 前田南-阿仁前田温泉間の田んぼアート ～



6月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



起立採決（議案第57号 令和8年度一般会計補正予算）

6月定例会の主な議事

- 北秋田市公告式条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について
- 令和8年度一般会計補正予算
- 令和8年度各特別会計補正予算
- 令和8年度各事業会計補正予算
- 工事請負契約の締結について（旧クリーンリサイクルセンター解体工事）
- 工事の委託に関する契約の締結について（消防救急デジタル無線及び高機能指令システム指令系更新委託）
- 財産の取得について（内部情報系パソコン）
- 財産の取得について（除雪ドザー14t級）
- 財産の取得について（電子黒板）

令和8年
6月定例会

令和8年度一般会計補正予算

5億4670万9千円を追加

6月定例会は、6月9日から6月19日までの11日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案2件、補正予算案12件、単行議案5件、報告4件、陳情4件、最終日には、人事案件2件が提案され、原案のとおり可決及び同意としました。

また、陳情4件については、うち3件を採択し、意見書を提出、うち1件を不採択にすることとしました。

▼令和8年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和8年度一般会計補正予算は、5億4670万9千円を追加し、総額は26億6968万6千円となりました。
主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
議会映像配信システム等更新事業	2374万4千円
最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付事業	3300万円
有害鳥獣駆除事業（地域ぐるみの環境整備）	916万6千円
6次産業化推進事業 （ジビエ「de」地方創生アドバイザー委託）	482万5千円
森吉山スキー場開発対策事業	2億1241万3千円
森吉コミュニティセンター改築事業	4676万円

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議 案 名	所属会派・議員氏名	採決結果	瑞北会							新創会				市民クラブ			日本共産党		公明党	無会派
			松橋久敏	木村信人	永井昌孝	畠山正和	石崎賢一	佐々木正史	小笠原寿	松橋史尚	佐藤将人	木村謙一	杉淵一弘	佐藤伸	成田康浩	小松正彦	板垣淳	久留嶋範子	福田牧子	福岡由巳
※議長は採決には加わりません。																				
議案第57号	令和8年度北秋田市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●
議案第69号	工事請負契約の締結について（旧クリーンリサイクルセンター解体工事）	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●
陳情第3号	ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	－	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

賛成・反対討論

▼議案第57号

反対討論 板垣 淳 議員

森吉コミュニティセンターの建設場所について、最新報は「住民説明会では現在地への建設を望む声が多かった」と書いた通り、さまざまな意見がある。よってよく話し合ってから決めるべき。

反対討論 福岡 由巳 議員

森吉コミュニティセンター建設場所について、問題は手順の踏み方が原因で、これまでも、市民から意見を聴く場を設けなかったり説明会が遅いなどから、まず市民の意見聴取を先行することを提案し反対する。

▼議案第69号

反対討論 板垣 淳 議員

予算15億円余りと高額で、どの会社もやりたい魅力的な仕事なのに1共同企業体しか入札に参加していないのはとても不思議。公正公平な競争入札であったのか疑わしく賛成できない。

反対討論 福岡 由巳 議員

本工事契約の相手方に市長一族が加わっているようだと、親族が入札に参加すると「公平な競争が担保されているのか？」という疑問が必ず生じる。多額の工事や一般競争入札には参加を控えるよう求め反対。

▼陳情第3号

賛成討論 福岡 由巳 議員

森林環境譲与税を活用して実施可能な市町村の取り組みは、クマ対策についても明文化され税活用は地域の実情に応じ創意工夫により検討することを進めている。検討は当然で適切な陳情である。

反対討論 畠山 正和 議員

林野庁と総務省が示した「森林環境譲与税を活用して実施可能な市町村の取組の例について」によれば「市街地」は当たらない。鳥獣保護管理法や鳥獣被害防止特措法に基づく事業とされる。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田県教職員組合 執行委員長 小林 久美子	採択	提出
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情	連合秋田大館鹿角地域協議会 議長 山内 一滋	採択	提出
ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情書	自然ネットワークあきた 代表 山下 友宏	不採択	—
免税軽油制度の継続を求める陳情書	東北索道協会 秋田地区部会 会長 草薨 作博	採択	提出
	特定非営利活動法人 森吉山 理事長 片岡 信幸		

総務文教常任委員会 森吉コミセンの実施設計予算可決

[委員長]松橋久敏 [副委員長]佐藤将人 [委員]成田康浩／石崎賢一／板垣 淳／杉渕一弘

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案5件、単行議案2件、陳情3件の計12件でした。

一般会計補正予算の議会事務局の審査では、委員から「議会映像配信システムの更新にかかる工期をどの程度見込んでいるのか。」との質疑があり、当局からは「物品の調達も合わせて1ヶ月半から2ヶ月と考えているが、入札の関係から運用開始は12月議会からの見込みである。」との答弁がありました。

学校教育課の審査では、委員から「小学校費について、この数年間を見ていると、校務員の場合、正職員が退職すると会計年度任用職員を採用してきた傾向があったと思う。目的は給与を抑えられることだと思いが、その分、責任の所在がどうなのか心配になる。今後、正職員の採用は考えているか。」との質疑があり、当局からは「中長期の視野で検討していきたい。」との答弁がありました。

生涯学習課の審査では、委員から「森吉コミュニティセンター実施設計委託料について、昨年10月に市長が記者会見で、建設場所は米内沢病院跡地に決定すると公表し、今年2月の市の広報に、建設場所について意見を寄せてくださいとのお知らせが載った。これは進め方の順番として逆ではないか。」との質疑があり、

当局からは「森吉コミュニティセンターを利用している方は、森吉地区に限らず、ほかの地区の方にもいることもあり、広報2月号において市民全体への意見公募とさせてもらった。」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、採決では、令和8年度北秋田市一般会計補正予算は賛成多数で、その他の議案については全会一致で可決すべきものと決しました。また、陳情は全会一致で採択、意見書を提出することに決しました。

(委員長 松橋久敏)

市民福祉常任委員会 生活保護費の追加給付が8月実施

[委員長]福田牧子 [副委員長]小松正彦 [委員]木村信人／永井昌孝／木村謙一／小笠原寿

当委員会に付託された案件は、予算案6件、単行議案2件の計8件でありました。

『一般会計補正予算』福祉課の審査では、当局から「平成25年から3年間実施した生活扶助基準改定に関して、最高裁判決において違法と判断されたことを受け、従来の水準と新たな水準の差額に関して保護費の追加給付を行う事になったもの。北秋田市の支給受給世帯273世帯、支給廃止世帯246世帯へ合計321万8千円を見込んでいます。支給方法は受給中世帯は保護費と一緒にプッシュ型で支給。廃止世帯は申出を受け支給するもの。」と説明がありました。委員から「支給は1回で終わるのか。廃止世帯分の支給スケジュールは。」との質疑があり、

当局からは「受給中世帯は、8月分支給時に1回の振り込みで終わる予定。廃止になった世帯は、プライバシーに配慮し、急いで通知する。」との答弁

があり、全会一致で可決すべきものと決しました。

『旧クリーンリサイクルセンター解体工事の契約』の審査でスケジュールについて質疑があり、当局から「令和8年～10年で、環境確認調査、土壌調査、ダイオキシン除去、建屋解体する。」との答弁があり、全会一致で可決すべきものと決しました。

『消防救急デジタル無線及び高機能指令システム指令系更新委託の工事委託に関する契約』の審査では、配備箇所とメンテナンス、更新時期について質疑があり、当局から「指令台は消防本部に設置、各分署の端末（監視カメラ）が9～10年のサイクルで機器の交換が必要となる。」との答弁があり、全会一致で可決すべきものと決しました。

(委員長 福田牧子)

活かそう市民の声

市政を問う！ 一般質問

一般質問は、6月11日・12日の2日間で行われ、11人の議員が登壇しました。

佐藤 伸 議員（P 7）

- ◆外国人による市の土地取得について
- ◆市内での太陽光パネル設置状況と対応について
- ◆サイバーセキュリティ対策について

石崎 賢一 議員（P 7）

- ◆クマ対策について

木村 謙一 議員（P 8）

- ◆空家対策について
- ◆長期休み中の市独自の子育て支援について
- ◆ごみ出し支援とごみ袋問題について

久留嶋 範子 議員（P 8）

- ◆長びく物価高対策について
- ◆熱中症対策について

福田 牧子 議員（P 9）

- ◆社会生活環境について
- ◆賃上げ対策について
- ◆感染予防ワクチン接種の助成について

松橋 史尚 議員（P 9）

- ◆老朽化の激しい合川地区農業集落排水施設並びにマンホール・中継ポンプ場の現状と今後のビジョン、計画について
- ◆鷹巣中学校野球部を母体にしたクラブ化移行について

佐藤 将人 議員（P 10）

- ◆鳥獣害対策について
- ◆耕作放棄地の発生防止と生産者確保

小松 正彦 議員（P 10）

- ◆第3次総合計画について
- ◆こども政策について
- ◆障がい者支援について
- ◆市民生活における安心安全について

板垣 淳 議員（P 11）

- ◆道の駅たかのす整備計画について
- ◆森吉山荘の再開について
- ◆森吉コミュニティセンター改築について
- ◆旧クリーンリサイクルセンターの解体について

成田 康浩 議員（P 11）

- ◆バイオマス発電事業の推進について
- ◆ジビエ処理場・加工場の建設について
- ◆「地域おこし協力隊」の効果的募集に関して

福岡 由巳 議員（P 12）

- ◆「道の駅たかのす」のモンベル直営店について
- ◆森吉山国定公園新規指定とジャパンエコトラック構想について

※各質問者のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

(さとう しん)
佐藤 伸 議員

(市民クラブ)



外国人による土地取引事例について

Q 全国的には、外国人・外国資本による国土の取得事例が増えており、県内でも転売による土地取得により、山林等の管理に不安が生じている事例も発生している。森吉山周辺も含め北秋田市の現状は。

A 現時点で外国人・外国資本による大規模な土地取得の事例は確認されていない。県立自然公園としての森吉山の国立・国定公園認定エリアについては、県により自然環境の保全が図られている。私有地等の小規模な土地取引までは自治体関与が困難だが、国の動向を注視し、取引の適正化に向けた対応を検討したい。

Q 太陽光パネルには、脱炭素というメリットのほか、災害時の管理や、パネルの最終処分方法が確立

されていないというデメリットもある。市内での設置の現状は。

A 事業用のメガソーラー相当設備は11か所と公表されている。しかし、規模によっては適用法令等の関係から把握が困難。施設の維持管理は発電事業者の責任において行われるもの。苦情等があった場合は関係機関とも情報を共有し、事案の解消に努めたい。

Q 近年、全国の自治体を狙ったサイバー攻撃が急増している。本市は大丈夫か。

A 本市が使用しているIT機器等については、市情報セキュリティポリシーに基づき、問題のないことを確認した上で選定しており、J-C-I-S-T-A-R(政府が定めた安全基準)の認定基準を満たしているものと認識している。



太陽光パネル設備の破損事例 (県内)

(いしざき けんいち)
石崎 賢一 議員

(瑞北会)



クマ対策の充実を

Q 市街地におけるクマ出没の情報伝達や注意喚起を積極的に。

A 状況に応じて、広報車による注意喚起を実施するほか、警察署と連携した巡回も実施する。

Q クマ出没抑制対策として、果樹木伐採補助金制度の見直しを。

A 果樹木伐採補助金については、継続。新たに環境省の「指定管理鳥獣対策事業交付金」を活用し、集落・自治会等が計画的に行う緩衝体整備、誘引木の伐採等に対して委託費用のほぼ全額を補助する(地域ぐるみの環境整備事業)。

Q 緊急銃猟を見据えた想定訓練の実施は。

A 北秋田警察署をはじめとする関係機関との訓練実施に向けた協議を進めており、7月中には実施する。

Q ガバメントハンターの採用は。

A 県で進められている専門員の配置状況を見据え、設置に向けて取り組む。

Q ドローンを活用したクマ対策を。

A 安全性や効率性の向上が期待されるため、活用について前向きに研究する。

Q 積極的な啓蒙普及を。

A 本年度から実施する出前講座に加え、市民向けのクマ対策研修会を開催する。

Q 就学前施設へのクマ対策支援を。

A 状況に即したクマ対策グッズの交付を検討する。また、緊急時を想定した訓練や研修会を実施する。



専門性を有するハンター

(きむら けんいち)
木村 謙一 議員
(新創会)



市民が安心して

暮らせる北秋田

Q 市内の空家は解体費用の高騰により除却を断念するなど管理されない状況にある。近年の建設資材の高騰や人件費上昇により、補助上限額の見直しを検討する考えはないか。

A 解体コストは上がっていると認識している。交付条件の見直しを含めて検討していく。

Q 市内の観光施設や道の駅などへの空き家バンク情報を提供する考えはないか。

A 市外からの来訪が多い施設での情報提供は有効な手法の一つ。手法を調整、研究していく。

Q 子育て支援として、長期休み中に市内の遊び場や施設を使えるクーポンの配布を実施してみてはどうか。

A 児童生徒を対象としたクーポン配付については、対象者の範囲や利用対象施設、事業効果など、様々な観点から検討が必要である。

Q 要介護認定を受けている高齢者や障がい者を抱えた方に、自宅までごみを収集する支援が必要であると考えますが、市の考えは。

A 介護保険制度等による家事援助として集積所までのごみ出し援助を利用することが可能となっている。個別収集については、他自治体の先進事例等を参考に研究をしていく。

Q 市指定ごみ袋が品薄で価格が高騰している店舗がある。対策について。

A 指定ごみ袋に限定した価格調整を行う考えはない。



倒壊の危機がある建物!!

(くるしま のりこ)
久留嶋 範子 議員
(日本共産党)



中東情勢悪化に

よる当市への影響は

Q イラン戦争がもたらす物価高騰資材不足は市民生活、農業をはじめ様々な分野で大きな打撃を受けている、市民経済への影響は。

A 現時点で事業を停止するような情報は入っていないが、一部事業所からは「仕入価格が上がった」「塗料やオイルなどが品薄になっている」などの話を聞いている。予断を許さない状況と受け止めている。

Q 市内全世帯を対象にした灯油購入費助成で、支給を受けられない世帯があった。市の対応は十分だったか。

A 世帯主が介護保険施設などに入所している場合、施設に対して同様の給付を行っていることから二重給付となるため対象者から除い



熱中症予防と対策

ている。住所を自宅に置いたまま世帯主が施設に入所したため、その世帯全体が支給の対象外となった。今後、世帯主を対象にした給付を行う際は対象や周知のあり方について十分に配慮する。

Q 今年の夏は例年にも増して過酷な暑さが予想され、熱中症の予防が欠かせない、対策は十分か。

A 今後も、酷暑・猛暑から、市民の生活と健康を守るため「クーリングシエルト」や「涼みどころ」の拡大に努め、関係機関と連携しながら、取り組んでいく。

Q 各公共施設や、小中学校体育館へのエアコン設置は、避難所としても必要ではないか。

A 必要と認識しているが、施設の耐用年数や優先度等を踏まえ、今後の施設整備計画を検討したい。

(ふくだ まきこ)
福田 牧子 議員
(公明党)



資源ごみ回収増加 賃上げ・健康寿命

Q 廃棄プラスチックは、地球温暖化・マイクロプラスチックによる海洋汚染や人体への影響を及ぼしている。プラスチック製品の原料であるナフサ不足も社会課題。限られた資源を循環させる持続可能な社会の当市の現状と取組は。

A 市の回収率は横ばい。回収後のリサイクルは、軽量U字溝やフォークリフトでの運搬用パレット等に再利用。白色トレイは新たな食品トレイとして商品化。情報を市民に伝え意識啓発し、分別方法を解りやすくする。コンビニで廃棄されるプラスチックごみのリサイクルを検討中。

Q 秋田県の最低賃金が引上げられたが、勤務時間を短縮された事業所がある。「あきた賃上げ緊急支

援金」が低調との報道。周知徹底が必要ではないか。

A 「あきた賃上げ緊急支援金」の相談はない。関係機関・商工会と相談し、何ができるか研究する。

Q 物価高騰や人件費の高騰を受けて地方自治体が指定管理者に支払う管理運営費の「指定管理料の物価・賃金スライド」を基本協定書に定める制度の導入を。

A ガイドラインはあるが、この後、制度については研究をする。

Q 高齢者が感染すると肺炎を発症するリスクが高く、「健康寿命」に影響を及ぼすRSウイルスワクチン接種の助成を。

A 優先順位や財政負担等から導入に至っていない。



プラスチック資源ごみ

(まつはし ふみなお)
松橋 史尚 議員
(新創会)



農業集落排水施設 の現状と計画は

Q 上杉地区及び下杉地区の農業集落排水施設が公共下水へ接続、統合された結果と効果について。

A 維持管理の効率化や処理機能の安定化など、一定の効果を得た。

Q 処理施設の修繕計画、また未然防止のための予防保全的な考えは。

A 日常点検や定期点検を実施し、必要に応じた修繕や機器の更新を行い、施設機能の維持に努めている。

Q 今後、公共下水道への統合なのか、既存の施設の長寿命化、機能強化なのか、第三の考えがあるのか、方向性は。

A 今年度改定を予定している中で各施設の現状や課題を整理し、効果的な整備、運営方法について検討を進める。

Q 地域クラブに対する学校施設の

無償、優先利用や活動予算、備品等の利用に関するガイドラインの策定を考えているか。

A 学校施設なので、子供たちが自由なく使えるようにするということは当然の考えだと思う。備品等についても、地域の方、子供たちが安心して使えるようなガイドラインをこれから考えていく。

Q 阿仁、森吉、合川、上小阿仁からの送迎に対する活動予算は。

A 広い地域の子供たちが練習場に困らないようにするためにどうしたらいいか、いろんな形、選択肢を設けながら、その中で何がベストかということを相談して、検討していきたい。



鷹中野球部のクラブ化

(さとう まさと)
佐藤 将人 議員
(新創会)



鳥獣被害対策と 遊休農地再生対策

Q 鳥獣被害防止総合対策交付金と言う国の事業があり、北秋田市が行っている「鳥獣被害防止計画」の取組に対して総合的に支援する事業であるが、市ではこの支援事業と併せてどのような対策を行っているか。

A 具体的には、有害鳥獣の確保や追い払いを実施する「個体群管理」、電気柵をはじめとする防護柵の設置を支援する「侵入防止対策」、緩衝帯整備の推進や、防災ラジオ等による注意喚起を行う「生息環境管理」の3つの柱に沿って取組んでいる。

Q 耕作放棄地の発生防止と生産者確保に向け、遊休農地の復活に取り組んでいる団体があり、この団体の取組は、遊休地を耕し、作物

作付けし、県内外から体験者を募集し農業体験をしてもらい、ここで農業を試みたいと関心を持ってもらう事を目的に、新規就農や担い手確保に努めている。遊休農地を復活させることは、耕作放棄地の解消にもつながり、移住・定住も視野に入れたこの取組は新規就農者や担い手の確保にも繋がるものと考えているが、上記の取組に対する支援等について伺う。

A この取組は耕作面積の縮小を防止する観点からも重要だと認識している。現在、遊休農地の再生に対する直接的な支援制度は無いが、再生農地を活用した園芸作物の種苗費や資材費等に対する支援を行っている。市としても効果的な支援の在り方や連携体制の構築について、探ってまいりたいと考えている。



長いもののイノシシ被害

(こまつ まさひこ)
小松 正彦 議員
(市民クラブ)



人口減少・少子化 対策を地域全体で

Q 安心して暮らせる社会の実現に向けた人口減少対策の具体的な目標を掲げ、市民とともに取組むことが必要。市の考えは。

A 総合計画の内容と進捗状況について、これまでの検証会議や周知方法以外にも有効な手法がないか考える。

Q 昨年生まれた子どもの数は過去最少。市でも少子化対策を進めているが市民に伝わっていない。子どもを産み育てる世代だけではなく、地域全体が応援する環境づくりを進めてほしい。

A 子育てに手厚く取組んでいることを多くの方に知ってもらうためのPRや機運醸成を充実させていく。

Q 保育園支援のため、改修支援や

市独自の保育士配置基準、障害区分による加配基準の見直しを。

A 保育現場の実情に配慮しながら適切な支援のあり方を検討する。

Q 障がい者の緊急時の対応と重層的支援体制の構築が必要。

A 緊急時対応については、地域の実情に合った取組を進める。重層的支援体制については、情報共有や課題の確認を行いながら取組む。

Q 市民の安全・安心に向けて自治会・町内会の支援を。

A 自治会・町内会を対象としたアンケート調査を実施する。課題を把握し、支援策の導入を検討する。

Q 総合相談窓口の設置を。

A 市民が相談しやすい体制づくりの観点から、適切な人材配置や専門機関との連携について研究する。



市総合計画と子育てガイド

(いたがき じゅん)
板垣 淳 議員

(日本共産党)



旧クリセン

解体の入札に疑問

Q 道の駅たかのす整備に反対の声が多い。

A 市民の一定の理解を得ていると受け止めている。

Q 森吉山荘再開にあたって、温泉も食事もやらないことを地域住民は納得していない。

A 市民の一部の理解を得ていると受け止めている。

Q 森吉コミュニティセンター建設場所を不満に思っている地域住民が多い。

A 承知しているが、総合的に判断し米内沢病院跡地に決めた。

Q 旧クリーンリサイクルセンターの解体工事は、一般競争入札なのに朝日建設・小野建設・津谷組の1共同企業体しか入札参加していない。公正公平な競争入札であつ

たのか疑わしい。

A 法に基づき適正に実施した。

Q ダイオキシンの処理ができるのは羽後町の小野建設1社だけ。そこと組めば他は手を上げられない。1共同企業体しか入札に参加しなかったのはそういう理由だったのではないか。

A ダイオキシン処理ができるのは1社だけではない。

Q 調べたところ1社だけだ。実際に1共同企業体しか手を上げていない。さらに、共同企業体の代表は市内業者に限定していることも応札を狭めている。

A 地元業者選定のため。

Q 発注者が津谷市長で、受注者が津谷組。為政者として問題だ。

A 指摘はごもっとも。禍根を残すことのないよう市長としての仕事ぶりで示していく。



解体する旧クリーンリサイクルセンター

(なりた やすひろ)
成田 康浩 議員

(市民クラブ)



バイオマス発電・ジビエの可能性は

Q バイオマス発電事業に対する市の取組と事業拡大に対する市の考えは。

A 現在、市内では、木材を細かく砕いた木材チップを燃料とするバイオマス発電施設が2か所稼働しており、そのうち1か所が道の駅たかのすに設置されている。発電事業者には、機会を捉えて事業の現状や拡充の可能性についても状況を伺っているところである。市としても、バイオマス発電は、市域の約8割を占める森林を生かす取組として、また、災害に強いまちづくりを実現するためのエネルギー確保の取組として、有効な手段の一つであると考えている。

Q 令和7年度の北秋田市におけるクマ・イノシシ・ニホンジカの捕

獲頭数とその処分・処理の内訳は。ジビエ処理場・加工場の建設の必要性に対する市の考えは。

A 令和7年度における市内の有害鳥獣の捕獲数は、ツキノワグマが343頭、イノシシが5頭、ニホンジカが3頭となっている。そのほとんどが捕獲事業者の自家消費として取り扱われている。ジビエを活用した地方創生の観点から、その環境整備の必要性を感じている。北秋田市にはマタギ文化に代表される狩猟文化が、今なお地域に根付いている。関係者の皆様と連携しながら、ジビエ活用の可能性を探り、全国のモデルとなるような取組につなげていきたいと考えている。



木質バイオマスの発電機

（ふくおか よしみ）
福岡 由巳 議員
（無会派）



**テナント料年額
三六〇万円の根拠は**

Q (株)モンベル誘致は期待するところであるが、道の駅たかのすにモンベル直営店を何故北秋田市が建設しなければならぬのか。

A 現在国では、道の駅を地方創生や観光を加速する拠点として位置付けている。道の駅たかのすのリニューアルについてもアウトドア店舗の誘致を核に誘客の仕組みを構築することとしている。

Q 地方自治法第244条「普通地方公共団体は住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための公の施設を設けるものとする」とあるがモンベル直営店は北秋田市が建設すべき公共施設に該当するののか。

A この施設は新たな道の駅棟の中核的な機能を構成する公共施設の

一部として市が整備を進めているところである。

Q モンベル直営店がテナント方式だとすれば市営住宅同様に新たな条例に基づく賃貸借契約を締結するということではよろしいか。

A 新たな道の駅棟へのテナントとしての出店となり、条例整備や契約内容については全国の先行事例を参考にして検討していく。

Q モンベル直営店の建築費は全体の面積案分で約5億円と示されモンベルのテナント料が年額360万円と説明された。地方財政法によれば償還額が1300万円となる。何を根拠に算定されたのか。

A 同法に基づくものではなく施設の維持費や運営経費の一部を賄う収入として考えている。



モンベル店相当額は5億円

令和7年度 政務活動費の公表

政務活動費は、議員の調査研究活動の充実を図るため、議員活動に掛かる経費の一部を補助するもので、北秋田市では議員1人あたり月額1万円を会派に交付しています。

また、会派に属していない議員については、月額1万円を議員個人に交付しており、いずれも年度終了後には、全支出の領収書を添えた収支報告書が作成され、残額については市に全額返還されています。

（単位：円）

		清明会 (7人)	新創会 (5人)	日本共産党 議員団(3人)	木村謙一	福田牧子	福岡由巳	計
収入	政 務 活 動 費	840,000	590,000	360,000	110,000	120,000	申請なし	2,020,000
	計	840,000	590,000	360,000	110,000	120,000		2,020,000
支出	調 査 研 究 費	721,295	187,500	77,240	0	70,122		1,056,157
	研 修 費	40,040	28,600	17,160	5,720	94,770		186,290
	広 報 費	0	233,118	182,322	162,070	6,512		584,022
	広 聴 費	0	0	0	0	0		0
	要 請 ・ 陳 情	0	0	0	0	0		0
	会 議 費	0	18,384	0	0	0		18,384
	資 料 作 成 費	0	0	0	0	0		0
	資 料 購 入 費	0	0	19,888	0	0		19,888
	人 件 費	0	0	0	0	0		0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0		0
計		761,335	467,602	296,610	167,790	171,404		1,864,741
残 額		78,665	122,398	63,390	0	0	0	264,453

※前任期議員の実績です。

第1回・第2回

市議会全員協議会



全員協議会について、第1回が5月26日、第2回が6月19日に開かれ、当局から説明があり、協議が行われました。

― 軽費老人ホームA型大野台エコーハイツ及び合川高齢者生活支援施設について ―

老朽化及び利用実態の変化に対応し、入所者の安全性や居住環境の向上を図るため、軽費老人ホームA型大野台エコーハイツ及び併設する合川高齢者生活支援施設の利用者を秋田県民生協会の運営する同類施設であるケアハウスさわやか寮へ移動させ、両施設を廃止するとの説明がありました。

施設の老朽化、構造的課題があるエコーハイツは、昭和52年建築で、トイレ、浴室が共用であり、かつ居室からの移動距離が長く、利用者にとって身体的負担が大きい施設構造となっている。また、生活支援施設は、平成13年の建築となっている。両施設の玄関が共通であり、ひと続きの施設となっていることから、同時実施が合理的だとの説明がありました。

― 秋田県旧農業担い手研修教育センター跡地について ―

旧農業担い手研修教育センターは、県が利用廃止した後、旧合川町が認知症のグループホームや、新規就農者の研修、宿泊等の場所として活用すべく、平成14年に秋田県より建物の譲与を受けている。

敷地を県から有償貸付けを受けているが、県より有償譲渡の方向性が示され、譲渡に当たっての県の方向性として、①普通財産であるため有償譲渡、②原則として一括譲渡、③現状渡しとの説明がありました。

― 森吉コミュニティセンター基本設計の概要 ―

森吉コミュニティセンターは、昭和56年建設であり、施設の老朽化への対応や、バリアフリー化、トイレの洋式化、駐車場の不便さ、アクセス性や安全面などの課題があるとし、安全で利用しやすい施設とするため、施設の改築を行うと説明がありました。

実施設計を令和8年7月に予定しており、供用開始を令和10年10月の予定としている。

― 道の駅たかのす基本設計の概要 ―

基本設計の履行期間が6月末となっており、現時点での進捗状況の説明がありました。

整備の方針として、基本計画に示しているコンセプトである「世界一の太鼓が響き森吉山の恵みあふれ、子

どもたちの心と体を育む、アウトドアステーション」の実現を目指して、基本設計を進めているとし、全体の配置図や外観図等が示されました。

子育て応援施設の整備について、市内の保育事業者や子育て世代から意見を聞いており、熊出没や猛暑などもあり、広々と遊べる屋内施設を求める意見が多かったとの説明がありました。

市内事業者の参入意向調査では、市内の24事業者からテナント出店や農産物加工品の商品納入に対する意向があることを確認しており、指定管理候補者の公募に向けた調査では、2社から参画について前向きに検討したいとの回答があったとの説明がありました。

完成は、大太鼓の館関係を令和10年7月、道の駅棟関係を令和10年9月としています。

― 森吉山荘の再稼働に向けた民間事業者参入意向調査の概要 ―

サウンディング調査を実施し、民泊施設を運営する事業者2社から申込があり、ファミリー・インバウンド向け高付加価値利用型と、アウトドア愛好者向け低価格山小屋風利用型の利活用の意見があったとの説明がありました。

利用方式の検討と、指定管理料については、柔軟な方法を採用する必要があるとのことであり、今後のスケジュールの素案として、今年10月に公募支援業務を委託、その後、実施設計、改修工事を行い、令和11年6月に運営再開との説明がありました。

― 鷹巣中学校体育館改築事業の概要 ―

現在の鷹巣中学校第一体育館は昭和35年に建設され、建設から66年以上が経過しており、耐用年数である40年を大幅に経過している。令和5年度に耐震調査を行ったところ、国が定める基準を下回る状況となっていると確認されたことから、安全安心な学校運営を行うためにも、改築事業を行うこととなったと説明がありました。

施設の構造は、鉄骨造平屋建。施設機能としては、メインとなるアリーナ部分をはじめ、地域開放での活用を想定した管理室やミーティングルーム、更衣室や多目的トイレなどを配置しているほか、夏の暑さや冬の寒さでも、快適な授業や学校行事を行うこと、有事の際の避難所としても活用できるよう空調設備を設置することとしています。

令和10年7月末の供用開始とし、当年度の2学期の始業式には間に合わせたい考えであるとの説明がありました。

議 会 の 動 き

<4月1日～7月15日>

4月

- 3日・議会運営懇談会
- 9日・世話人会
- 16日・第1回臨時会
・広報広聴特別委員会
- 23日・第78回東北市議会議長会
定期総会（～24日）
- 28日・秋田県市議会議長会監査

5月

- 1日・大館能代空港利用促進協
議会監査
- 10日・ライオンズクラブ第72回
地区年次大会
- 11日・北秋田市老人クラブ連合
会総会
- 12日・県道矢坂糠沢線整備促進
期成同盟会監査
- 13日・広報広聴特別委員会
- 14日・全国自治体病院経営都市
議会協議会第54回定期総
会
- 18日・県道矢坂糠沢線整備促進
期成同盟会理事会
- 19日・議会運営委員会
- 20日・全国民間空港所在都市議
会協議会第109回定期総
会
- 21日・北秋田市商工会会員親睦
大会
- 22日・国道46号「高規格道路」
盛岡秋田道路整備促進期
成同盟会、大曲鷹巣道路
整備促進期成同盟会令和
8年度合同総会
- 25日・令和8年度八戸・能代間、
北東北横断道路整備促進
期成同盟会総会
- 26日・令和8年度北秋田市日沿
道建設促進期成同盟会総
会
・第1回全員協議会
- 27日・全国市議会議長会第102
回定期総会

6月

- 1日・議会運営委員会
- 3日・議会運営委員会
- 7日・大喝祭！ふるさと踊りフ
ェスティバル
- 9日・6月定例会（初日）
・広報広聴特別委員会
- 11日・本会議 一般質問①
- 12日・本会議 一般質問②
・議会運営委員会
- 15日・総務文教常任委員会

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会における表彰状の伝達が、6月9日に市役所本庁舎の大会議室で行われました。出席した議員からは拍手が送られ、長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績をたたえました。

- 【正副議長表彰4年以上】
- 堀部 壽 氏(前議長)
中嶋 洋子 氏(前副議長)
- 【議員表彰25年以上】
- 長崎 克彦 氏
佐藤 重光 氏
佐藤 文信 氏



議 会 見 学 清鷹小学校

6月11日に清鷹小学校6年生児童28人が市役所を訪れ、傍聴席から本会議の様子を見学したり、議会事務局職員から説明を受けるなどし、議会の役割などについて学びました。



市議会へのご意見を募集しています

- 対 象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方 法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公 表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- TEL (0186) 62-6624
- FAX (0186) 62-4845



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださるようお待ちしております。

広 報 広 聴 特 別 委 員 会

- 委 員 長 佐藤 伸
副 委 員 長 木村 謙一
委 員 成田 康浩
委 員 木村 信人
委 員 福岡 由巳
委 員 杉 渕 一 弘

6月

- 15日・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
- 19日・6月定例会（最終日）
・議会運営委員会
・第2回全員協議会
- 23日・主要地方道比内大葛鹿角
線整備促進協議会

7月

- 6日・米代川、県北国道7号・
日沿道北部同盟会合同総
会
- 8日・議会運営委員会
・議会改革特別委員会
・東北日本海沿岸市町村議
会協議会総会
- 10日・市民福祉常任委員会所管
事務調査
- 13日・一般国道103号改築・大
館十和田湖線工事促進期
成同盟会合同総会